

明けまして

おめでとうございます

地域の活性化を目指して

公民館長 橋 本 昭 二

愈々二十一世紀に又一步近づいて参りました。今年も公民館活動に倍旧の御指導と御協力を賜ります様、年頭に当りまして心より御願ひ申し上げます。今年の私のスローガンを掲げてみます。

1. 都市交流事業の継続と成功。
 2. 同和教育の徹底とこの問題の解消。
 3. 明るく町づくり運動の推進
 4. 地元活性化のための特産品の開発
1. は昨年度、全く五里霧中で手を付けと新しい事業で、各地区の自治会長さん初め町民の皆さんに非常に御迷惑を掛け、暖かい御理解と御協力で何とか成功とはゆかないまでも切抜けるこ

とが出来ました。

都市交流事業は三年間の継続事業です。今年も捲土重来の意気込みで取組みたいと存じます。皆様何分とも宜敷く御指導と御鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げます。

次に四番目の問題ですが、農政問題には、ごく疎い私でも今年度の米作りには、於ける全目的な減反問題を聞きますと、未だ農産収入の大半が米作である大代町の危機感が迫る様な気が致します。

大代町の皆さんは、転作にメロン作りとか、活性化事業に味噌工場、天領シャモの出荷など色々開発されて居りますが、これ位では、まだまだ大代が活性化する程の産業には、ほど遠い焦燥を感じています。

このきびしい現実を町民こそって額を集めて寄りそい、あい携えて乗り切つて行く事が必要だと思ひます。又、そう言った段階での公民館の100%活用も、どしどし行つて頂きたいと存じます。

年頭に当りまして輝やかしき昭和六十二年になります事を祈り、町内の皆

様の御力添えをお願い申し上げます。

都市交流事業へ

—御理解と御協力を—



自治会連合会長 永 井 吉 一
新年を迎え皆様御揃いでお正月を過ぎしの事と存じます。

円高に依る経済不況は毎日に深刻となつて来ました。何れは当町もそのしわ寄せが必ずやつて来る事を自覚せねばならないと存じます。

又、大代町の基幹産業とも言える農業も、さき行きが大変暗く、減反政策、外国からの農産物の輸入調整などきびしい将来が予想されます。

こうした実状の中で地域の活性化を目指して、昨年からは都市交流事業を行うことになりました。

幾多の問題はありましたが、幸に町内の皆さん、自治会、婦人会、青年団を始め各種団体の御理解と御協力で依つて一回目を無事終了出来ました事を厚く感謝致します。

何分にも始めての事業で、企画、運営についても見通しの甘さはありませんが、幾つかの良い経験を味わう事に

もなりました。

炎天下の中での事業で、分担して頂いた皆様も大変だったと思います。

特に田植ばやしの共演については、中学校生徒諸君、保善会の若手の皆さんが積極果敢に創作され立派な芸術が生まれ、酒場の惜しみない声援に「充実した一時」の音が聞かれました。

本年は二年目を迎えます。

地域内の施設、道路改善、自治活動と共に努力したいと存じます。何卒一層の激励と御協力を頂きます様、お願い申し上げます。

都市交流

— 藍より響き故郷の空 —



酒摩町仁万小学校長 原田 萬里

年の瀬も見えて来ました。昨夜などは大代は雪ではなかったでしょう。大代の香りが一ぱいの館報、有難く、しみじみと故郷を偲ばせて頂きました。私が四十年間教育に携わり、信条として生きた事は「愛郷の心」を育てる事として参りました。

それは私自身が若くして故郷を離れ、他の地で子供を対象に生きさせて頂く

中で、常に望郷の念は強まるばかりでした。父母の居ます所は私が安心して帰れる所、心の安住の場でもあるのです。私がジプシーの様に家族を連れてきた。私としては、娘が高校生のとき

「私には故郷がない。おばあさんの居られる所を故郷にしよう。」と言ったのです。この時ほど私が強く子供に対して申し訳ないと思ったことはありませんでした。

子供が安心して帰れるところを地球の一隅に作っておかねばと思ったのです。それから土地を探し求めました。現在の住居はこうして構えたものです。その娘もそろそろ嫁に行く年頃となりました。

異郷に在って、こよなく故郷を愛し、故郷の為に生き、故郷の為に美しく死にたいと念じています。

はつあかね

故郷の山高く見ゆ
大江高山は、私のシンボルです。

1月 少年健全育成指標

この一年 計画を立て、頑張ろう

成人の日

— ゆるぎなき涙をはって —

柿田 横手 明

今、成人式を迎えた私は、荒野の真ん中にポツンと移植された一本の雑草なのです。二葉しか生えていない私は風雨に打たれ、また靴で踏みじられながらも一ミリずつ伸びていかなければなりません。もう誰も肥料を与えてはくれません。養分や水分を吸収するのは自分自身の努力しかないのである意味では厳しい人生の始まりでしょう。

しかし、上を向いてみよう。大きな大きな未来が広がっているじゃないか。「よし／＼やるぞ!!」大空を仰いで決意しよう。自分の中にある可能性を何とかして自分で引き出そうと努力し続けよう。そして、何とかして自分が他の人の役に立つように考えてみよう。できなかつたって決してあきらめず、とにかく行動し続けよう。思いつきり楽しみ、思いつきり笑おう。思いつきり苦しみ、悲しみ、思いつきり泣こう。二十代というのは人生における様々

な変化のある時期だと思ふ。生半可な考えで何となく生きていたら、つまらない人生になってしまう。自分自身に厳しく、周囲にはやさしく、一生懸命生きなくてはいけない。立派な花を咲かせるために、どんなことにも揺らぐことのない、しっかりとした根を張ることが今の私の仕事だと思ふ。

還暦を迎えて

四日市 荒 本 貴和子

「還暦」とは六十一才（満六十才）の寿を祝う年祝の一つ、満六十才に達すると再び生まれた年と同じ干支にめぐり会うのでそれを祝うの意と、事典にあります。だから赤ちゃんに還るといふ意味から以前は赤い袖無しに頭巾を着て祝杯をあげたのですが、昨今はあまり行われておりません。

昔は人生五十年といわれ、中々六十までは寿命がなかったものです。現在は平均年齢が約八十才と延び、経済や食糧、医療がよくなり、還暦を迎える事に何ら芽出度いと云う意識もうすらいだ感じがします。古希、喜寿、米寿、

傘寿、白寿を迎えられる方が多くなりほんとうに目出度い事です。

私も還暦を迎え、この年まで大病をしながらも元気に生かされている事に感謝しなければと、しみじみ思っております。住職の念願であった本堂再建も皆様方のおかげで建立出来、勿体ない事と有難く思っております。また西臨寺仏教子供会を発足させる事が出来て、嬉しく思っています。人数は少なくても毎月楽しみにして出席してくれる子供の顔をみるのが嬉しく手作りのオヤツを喜んで食べて、サイナラと元氣にかえる姿を見送っています。残された私の命を坊守として念仏と共に悔いのないよう一生懸命つくしたいと思ひます。

人権

—言葉の大切さ—

大代中学二年 山 下 和 美

テレビのニュースを観ていると「いじめ」について色々取り挙げられています。

自分の命をかんたんに捨てる人、何が有ったのか、何故……。私と同じ中

学二年で自殺した人もいます。

いじめで自殺に追い込まれる人、すごく悲しい事です。いじめには、いろいろの場合が有る様です。暴力で相手の体にきずつけてしまう。又は言葉でいじめるなど。

体の傷は病院に行けばきれいに治りますが、心の傷は一生治らない事にもなります。

言葉でいじめると言う事はとてもかんなんな事ですが、然し自分がいじめられて見ると、とてもつらい事です。よく男子に「デブ」とか「ブス」とか言われました。体のことを言われるのは一番いやな事の一つです。だから私もむきになって言い返した事もあります。でも私の一番弱い所を言われるのはとてもつらく、時には何もかも嫌気がさし、学校へゆくのもいやになる事さえあります。

だんだん大きな学年になるにつれて今では余り言われなくなりました。

考えて見ると人に言われる一方、私も相手の一番いやな事も言い返して来ましたが相手によつて、此の人はこわいから言わないでおこうなどと言う人

と言わない人を造る事、これも差別と言う感じです。

言葉は誰にでも言えます。言葉でのいじめは一番簡単であり一番悲惨な事を招くことがあると思います。

だからこれからは言葉をうまく使い決して人が傷付く事を言わない様に気をつけたいと思っています。

昭和六十一年度 愛の袋

― 集計配分報告 ―

民生協議会 渡 淳

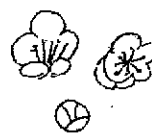
歳末助け合い「愛の袋」運動に御協力いただき有難うございました。

御礼に併せ、左記の通り御報告申し上げます。

- 一 現金 七万六千五百五拾四円
- 現物 壹万参阡壹百五拾円(換金)
- 市より 四阡貳百拾円(市社協より)
- 合計 九万参阡六百拾四円

お寄せ頂きましたお金は町内二十五世帯、三十一人の色々と恵まれない方々に配分させて頂きました。有難うございました。厚く御礼を申し上げます。

新春俳句



東京 渡 俊則

。初夢を語り賑う朝餉かな
。千代の松初日に集う民の群

大田 坂 井 熾歩

。村寝落ち夜もすがら荒るる虎落笛
。庫裡裏は冷えて八手のにぶき艶

。初詣鼓の音常より神さびて

久手 原 田 萬里

。ふるさとは藍より碧き秋の空
。はつあかね故郷の山高く見ゆ

下谷 尾 崎 三枝子

。初光代代の館を守りきて

下市 立 野 草衣

。去年今年連なる道のひとり旅

飯谷 武 田 島子

。すがすがし石見山河の初明り

椿 柿 丸 寿枝

。表札の墨黒黒と初明り

八反田 森 信子

。祖母まねて孫拝みおり初日の出

下市 渡 あやこ

。髪を梳く二の腕白し初鏡

おしらせ

◇ご結婚

おめでとうございます

(大代市) 内田智保子さん(旧性椿)
(上) 内田貴志様 (安来市)

◇公民館図書室へ左記の方々から多数の書籍を御寄贈戴きました(約百二十拾冊)。

東京(上市出身) 松野 宏 様

上市 市原道子 様

植松 山本一義 様

本郷 和田定行 様

館長 橋本昭二 様

有難うございました。お陰で図書室も満杯となり利用者の方々も最近は大変増えました。皆さんどしどしご利用下さい。

